

2024 年度 「中国 大連通信」

2024 年 7 月 17 日

駐大連北九州市経済事務所

◆所 長 瀧口 達弘 ◆副所長 松江 拓尚

◆副所長 呂 俐 ◆職 員 畢 偉宸

松江 E-mail: fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com

～中国における様々な展覧会・博覧会～

近年では、チャイナ・プラスワンの動きにより生産拠点を中国以外の国へ移す企業も増えてきていますが、中国は人口、GDP とともに世界第二位の大国であり、旺盛な消費力を有しています。

中国国内での販路開拓や市場調査の 1 つの手法として、各種展覧会や博覧会に出展するという方法があります。今回は直近で行った展覧会・博覧会について 2 つ紹介するとともに、今年 9/26～9/28 に開催される「大連日本商品展覧会」の紹介をさせていただきます。

■ハルビン市概況

	ハルビン市	大連市	福岡県
人口	939.5 万人	608.8 万人	510.1 万人
面積	53,100 km ²	12,574 km ²	4,987 km ²
域内総生産(GDP)	5,576.3 億元	8,752.9 億元	8,657.7 億元(2021 年) ⁱ
消費者物価指数	0.7%	0.4%	3.2%(北九州市)
年間平均気温	5.6 度	10.5 度	18.5 度
年間降水量	423.0mm	719.1mm	1,686.9mm

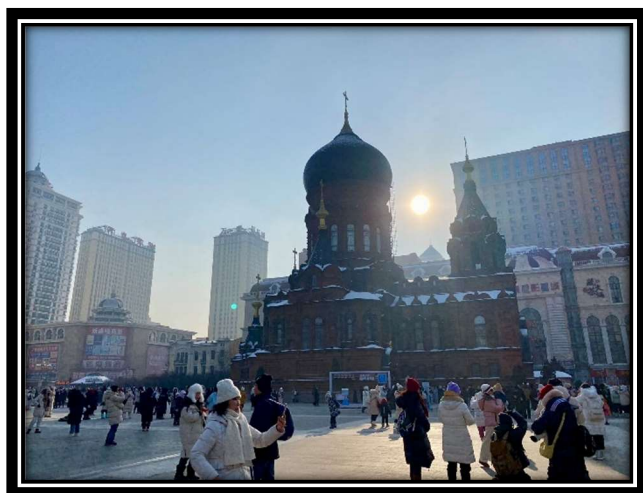
出展「ハルビン統計広報」、「大連統計局発表資料」、「福岡県HP」、「気象庁HP」を基に作成

中国ロシア博覧会は毎年 5 月か 6 月に、黒竜江省の省都ハルビン市で開催されます。中国の東北地方にあるハルビン市は、面積 53,100 km²と九州(44,516 km²)以上の面積を誇り、戸籍人口は 939.5 万人を有する東北地方有数の都市です。北海道本島最北の地である宗谷岬とほぼ同じ緯度に位置し、冬にはマイナス 20 度以下になることもしばしばあります。年間平均気温は 5.6 度と札幌市(11.0 度)を大きく下回り、毎年冬に開催される冰雪祭りは大変有名で、今年は開催された 61 日間で国内外から約 271 万人の人々が訪れました。



※Google map より

中国ロシア博覧会が開催されるだけあり、ハルビン市はロシアとの関係が歴史的に強い地域です。1900年初頭から当時の帝政ロシアが開発を進め、ロシア正教会の聖堂であった聖ソフィア大聖堂をはじめ、目抜き通りの中央大街には当時の建築物が多く現存しており、東洋のパリとも称されるヨーロッパ風情を感じられる街並みとなっています。



※聖ソフィア大聖堂



※冰雪まつりの様子

■中国ロシア博覧会

例年は6月に開催される事の多い中国ロシア博覧会ですが、今年は5月17日～21日の日程で開催されました。出展事業者は、世界44カ国、国内21省から計1,400社余りが参加し、一般公開初日の18日（17日は企業関係者のみ）には約7.5万人の来場者が訪れました。

中国ロシア博覧会の特徴として挙げられるのが、①来場者数（一般客）の多さと②出展商品が多岐にわたることです。通常博覧会は、食品関係や工業関係、環境関係など特定のテーマで括られることも多いですが、中国ロシア博覧会では、車両や絨毯、食品関係など多種多様な商品が出展されていました。



※入口付近の写真。両サイドには、大型トラックやバスも展示

実際に行って感じた事は、食品関係などの手ごろな価格帯の商品を提供しているブースの人气が高く、来場者が殺到していた事です。これは、このイベントの特徴でもあります。一般客の来場者が多い事にも起因していると思われます。

日本からは、北海道、山形県、新潟県の企業がブースを出しており、中でも新潟県からは計 6 社が出展しました。新潟県大連事務所によると、この種のイベントに出展する上で大切なことは、市場調査が目的なのか物販が目的なのかをハッキリさせる事だそうです。そして物販が目的の場合は、価格帯が安く、持ち運びしやすい商品を選んだ方がよいとのこと。また、今回出展した新潟県企業の一部は、在庫処分も兼ねて、この博覧会をうまく利用しているとのことでした。



※食品ブースに殺到する人々



※賑わいの少ない絨毯のブース

■SIAL 上海 2024 (JETRO ブース)

続いて、5月28日～30日に上海で開催された中国最大級の総合食品見本市「SIAL 上海 2024」の紹介をします。このイベントは中国ロシア博覧会とは異なり、食品関係のみのイベントです。来場者も卸売り会社や小売店、飲食店など飲食関係者を対象に絞っており、前述の中国ロシア博覧会とは毛色が大きく異なるイベントです。

主催者発表によると、世界75の国と地域から5,000社が出展し、世界110ヵ国から17万5,739人のバイヤーが来場しました。日本からは、JETROが設置したジャパンパビリオンに36社が参加、日本酒やお米、カレーや調味料など様々な商品が扱われており、北九州市からも菓子製造会社1社が参加しました。

参加した北九州市企業によると、イベント期間中3日間で約30社と面談する機会があったとのこと、1回のイベントでこれほど多くのバイヤーと直接面談が出来ることがこのイベントの特徴であり、中国国内での販路を見つけない、拡大したい事業者にとっては、魅力的な選択肢の一つだと言えます。



※JETRO 設置のジャパンパビリオン



※各事業者の出展品

■大連日本商品展覧会：2024年9月26日（木）～2024年9月28日（土）＜ブース代無料＞

最後に、今年の9月26日（木）～28日（土）に大連市で開催される大連最大級のイベント「大連日本商品展覧会」の紹介をします。今年はコロナ禍以来4年ぶりの開催となり、前回開催された2020年は、30の都道府県から330社の企業が参加し、来場者数は10.3万人に達しました。

大連日本商品展覧会は、冠に「日本」の2文字が入っており、来場者も日本商品に関心ある人ばかりが来ます。加えて、大連市と友好都市である北九州市は大連での知名度も高く、例年多くの方に北九州市（企業）ブースに足を運んで頂いております。

工業製品から衣類、食品など様々なものが取り扱え、物販も可能です。大連日本商品展覧会の申込期日は8月下旬となっておりますが、現在3社の企業様が参加予定になっています。出展にご関心ありましたら、8月20日（火）までに当事務所までご連絡お願い致します。

他にも、中国では各所で様々な展覧会が開催されています。大連に限らず、皆様のご関心のある地域やテーマ等がありましたら、適当なイベントを探すなど出展のお手伝いをする事も可能ですので、是非お気軽にお声がけ下さい。



上届回顾 前回の回顧

2020大連日本商品展覧会、来自日本30个都道府县的330家机构、企业参展，展览面积1.6万平方米，标准展位530个。共吸引110.3万人次进场观展，现场销售额2.4亿多元，洽谈2600多场次，达成采购、代理意向合同1083个，意向成交4.7亿多元。

2020大連日本商品展覧会は、日本の30都道府県計330社の企業様に出席していただき、展示面積は1.6万平方メートル、530個ブースでした。10.3万人の来場者があり、現場販売額は2.4億円、2600件余りの商談を行い、仕入れ、代理などの意向契約は1083件、意向成約額は4.7億円でした。

展品种类 業種分野

工业制品与技术、智能制造、生物科技、健康医疗、节能环保、养老介护、建材家具、装修装饰、服装服饰、美容化妆、办公设备、日化用品、工艺美术、食品酒水

工業製品と工業技術、スマート製造、バイオテクノロジー、健康・医療、省エネ・環境保護、養老介護、建築資材・家具、内装・装飾、衣類・服飾、美容・化粧品、オフィス用品、日用品、工芸・美術、食品・酒類など



展会机构

主办
大连市人民政府

承办
中国国际贸易促进委员会大连市分会
大连国际商会

执行
大连国商展览有限公司

协办
日本各都道府県自治体
日本国际贸易促进协会
大连市中日友好协会等贸易促进机构

開催概要

主催
大连市人民政府

実施
中国国际贸易促进委员会大连市分会
大连国际商会

運営
大连国商展覽有限公司

協力
日本国の各都道府県自治体
日本国際貿易促進協会
大連市中日友好協会等のビジネス促進機構

展会介绍 展示概要



为进一步深化与日本全方位多层次宽领域交流合作，由大连市人民政府主办，中国国际贸易促进委员会大连市分会、大连国际商会承办的2024（第十三届）大连日本商品展览会拟于2024年9月6日至8日在中国辽宁省大连市举办。

大连日本商品展览会已经成功举办十二届，累计已有来自日本40多个都道府县的3500余家日本（日资）企业来连参展洽谈，成为增进友好交流、促成经贸合作的综合性国际展会平台。

展会组委会将与日本各相关机构密切合作，以服务工商企业为根本，扩大双边进出口贸易，促进产业链供应链深度融合，为中日经贸合作注入新动能，开创互利共赢的新局面。

日本とのあらゆる分野において多層的に幅広い交流協力をさらに深めるため、大連市人民政府が主催し、中国国際貿易促進委員会大連市分会、大連国際商會が実施する2024年(第13回)大連日本商品展覧会は2024年9月6日から8日まで中国遼寧省大連市で開催することになります。

大連日本商品展覧会はこれまでに12回開催され、累計で日本の40余りの都道府県から約3,500社の日系企業が出展・商談に訪れて来られています。友好交流を推進し、経済貿易協力を促進する総合的な国際展覧会のプラットフォームとなっています。

本展覧会の組織委員会には日本の各関連機構と緊密に協力し、商工企業へのサービスを基本として、二国間の輸出入貿易拡大、産業チェーンおよびサプライチェーンの深い融合を促進、そして中日の経済貿易協力を新たなエネルギーを注入し、Win-Winの新しい局面を切り開きます。



i 1 元 22 円で計算